

地元の民間企業と県、市の公務を体験 思考が変わり、就職活動の視野が広がりました。

参加のきっかけ：

私は以前から大学卒業後は岩手に戻り、就職しようと考えていました。しかし、地元について知らないことも多く、それを知る機会としてインターンシップへの参加を考えました。どんな仕事につき、どう地域と関わっていくか明確に決め切れていなかったため、知らない地元を発見し向き合っていくことで自分の進む道を決めたいという思いもありました。

参加してみて：

毎日が新しい発見の連続で、内容の濃い日々でした。社会人の皆様はみな個性豊かで、熱い思いを持ち、地域やご自身の可能性を熱心に語ってくれて、ワクワクしながら聞いていたのを覚えています。岩手日報社のインターンシップでは実際の取材も経験し、写真を撮影したり、インタビューをしたりとコミュニケーション力と発信力に自信ができました。どなたからもアドバイスやエールをいただき、岩手で働くことの理解が深まることはもちろん、企業の特徴や働く方々の人柄、思いに触れることができました。職種や立場が違ってもこんなにも見えるものが違うのだということも経験しました。ただ、複数のインターンシップに続けて参加し、気持ちの切り替えが難しかった部分はありました。今は一つ一つ整理した上で次に進めば良かったと考えています。今後は、できるだけ今までの自分とは違う考え方をしてみようと思っています。就職活動でも興味を持つ分野だけでなく、全く違う分野にも視野を広げてみたいと思っています。これからインターンシップに参加しようとするみなさんには「遠慮せずに『こうしたい』という思いを伝え、何より楽しむ姿勢が大事」とアドバイスしたいです。

voice
サポートデスク
スタッフから

民間企業と公務員（公務員は県と市）を経験し、それぞれの職業やそこで働く人々の違いや共通点を実感し、仕事に対する視野を大きく広げたと思います。岩手日報社では、実際の取材も行い写真や原稿が紙面に掲載されるというめったにない体験をすることができ、充実したインターンシップになったようです。田中さんにとってこの貴重な経験は進路決定だけでなく、日々の学生生活でも大きな糧になったに違いありません。

体験したのは！

田中 健さん
(盛岡市出身)

金沢大学
人間社会学域地域創造学類



岩手県庁と盛岡市役所でインターンシップをした後、岩手日報社の記者体験を中心にした5日間のプログラムに参加。民間と公務の違いなどについて現場の方々から学んだ。

実施プログラム！

実習① 株式会社岩手日報社 (情報通信業)

所在地：盛岡市内丸3-7
事業内容：日刊新聞の印刷、発行、販売など

1日目 2日目	新聞社の社会的役割や仕事内容を学んだ後、取材マナーや文章の書き方、写真の撮影の仕方などをベテラン記者から指導を受けた。
3日目 4日目	盛岡市のアイーナで開かれた2日間のイベント「いわてとワタシゴト展」で取材
5日目	同社が発行した同展の特集紙面に写真と記事を出稿

実習② 岩手県保健福祉部 (公務)

所在地：盛岡市内丸10-1
事業内容：医療供給体制や安全で衛生的な生活の確保、地域福祉の基盤づくり、障害者・子どもと家庭・高齢者などを対象とする福祉事業、生活保護など

1日目～ 4日目	<ul style="list-style-type: none"> 保健福祉部各課における業務説明 県所管施設、委託事業所等の見学 県主催イベント、委員会、研修会等への参加
-------------	--

実習③ 盛岡市保健福祉部 生活福祉第二課 (公務)

所在地：盛岡市内丸3-46 盛岡市役所内丸分庁舎3階
事業内容：生活保護、生活困窮者自立支援、ひとり親家庭の人への助成・相談など

1日目～ 5日目	<ul style="list-style-type: none"> 生活保護窓口の受付業務 就労支援プログラム等の事業への参加 生活保護受給世帯(施設)への訪問同行
-------------	--

なお、このほかにも盛岡市内にある通所介護施設フキデチョウ文庫や、盛岡市市長公室企画調整課都市戦略室に訪問してお話をうかがいました。